



五城目町の
未来をキャッチ

秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

主な内容

- 定例会の経過 2
- 連合審査会 3
- 常任委員会の焦点 4~5
- 一般質問に6名登壇 6~12
- あれ なんとなったべが! 15
- 議会を傍聴しました・がんばってます 16

Contents

No.155
2023.7.1

6月定例会は6月12日から19日まで8日間の日程で開かれた。

初日 渡邊町長は行政報告で「エネルギー・食料品等の物価高騰対策として、低所得世帯へ1世帯あたり3万円、町民一人あたり1万円分の商品券を支給。国民健康保険税の税率改正では、令和5年度は基金が減少していることから、持続的で安定的な国保事業を運営するため、改正案を上げする。」

観光振興として湖東3町商工会主催の『市神祭』は6月25日に開催、昨年は豪雨により急遽中止となった『きやどっこ

みんなの学校 参加者700名超



五城目町議会傍聴の様子がテレビで放映されました

まつり』は例年どおり8月15日開催、秋田追分全国大会は10月1日開催することが決定している。

街路樹管理計画として、樹木が1,850本あり、そのうち健全度が極端に低い402本について、今後の点検結果を踏まえつつ、住民アンケートを実施しながら街路樹の管理方法などについて検討していく。

『みんなの学校』は24講座の開催、700名を超える方が集まる事業になった。今年度は35講座の開催を目標に『ひとづくり』『つながりづくり』『地域づくり』の実現に向けて取り組んでいく」と述べた。

2日目 一般質問には6名が登壇。富津内バス、コロナ禍の反省、介護保険事業計画の振り返り、防災と減災、带状疱疹ワクチン公費助成、町の人口減少などの質問が行われた。

3日目～7日目 当局より、令和5年度一般会計補正予算案、報告案件など13件の議案が上程された。その後、各常任委員会が審査した。

最終日 委員長報告のあと、五城目町地域活性化支援センター設置条例の一部を改正する条例制定など15議案が可決・承認・報告済みとされ、陳情2件を採択、1件を不採択、人事案件13件に同意し閉会した。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定案について採決

賛成多数により可決

(出席11名 欠席1名 議長を除く)

賛成

松浦 真、椎名 志保、荒川 滋
佐々木仁茂、畑澤 洋子、石井 光雅
伊藤 正春、佐藤 重信、荒川 正己
館岡 隆

反対

斎藤 晋

欠席

工藤 政彦

令和5年度 補正予算主なもの

- オール五城目生活応援商品券事業 9,091万円
- コミュニティ事業補助金 499万円
- 貯水槽撤去委託費用 341万円

表紙について

6月24日に4年ぶりの開催となったことも縁日には朝市ふれあい館に大勢の子ども達が集いました。

(松浦 真)

国民健康保険税において、今後の安定的な財政運営を図るため税率を見直し引き上げをするもの

議案第30号国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定案は、「税」であるため総務産業常任委員会に付託された。しかし、国保は教育民生常任委員会の所管事項と関連し、両常任委員会で連合して審査することが効果的である。よつ



連合審査で垣根を越えた議論を

て14日連合審査会を開催し審査した。議員からは「保険医療費抑制のための事業をさまざま行っているが、その効果は」と質疑があり、「早期健診を含む特定健診の受診率が令和2年にはコロナ禍の影響を受けて15・6%まで下がってしまった。令和3年には受診率が35・6%と持ち直すも、依然として低水準である。受診率の向上のためナッジ(行動経済学の理論)を活用しながら、国保加入者のうち、未受診者の行動変容を促す施策を行っていきたい」と当局の答弁があった。他の議員から「県の国保運営方針に対して町が訴えるべきことは何か」と質疑があり、当局から「早めに保険料水準の統一を訴えたい。医療費の抑制についてはデータヘルス計画のレセプト(※1)

調査だけでなく、県に提出する抑制事業計画が重要となる。今年度からは成果が上がったものだけにインセンティブ(※2)が支払われるため、着実な実績を挙げる健康増進事業の計画実現に向けて動いていきたい」と回答があった。議員から

「医療費削減だけに目を向けるのではなく、健康増進自体がそもそも町民の幸福度向上に寄与するという認識が重要」「受け持ち業務が過多になっている健康福祉課関係業務の職員を増やすなどの対応も必要」

「今、引き上げなくてもなんとかなるが令和6年度予算編成に支障が出るため税率改正は避けては通れない」

「一時全国5番目に高い保険税額であったが、今ではかなり下がっている。受益者の負担をなるべく減らすため、これまで議会としては意見してきたが、その低空飛行もいよいよ限界である」と指摘があった。

※1 レセプト＝医療機関が保険者に提出する月ごとの診療報酬明細書

※2 インセンティブ＝保険者ごとの調整率(いわゆる加算率・減産率)を乗じる「保険者報酬」

(松浦 真)

国保税引き上げで連合審査会

「税率改正は避けては通れない」

同意なく不本意な貯水槽 設置から52年



水槽上部の高さに驚愕



教育民生 常任委員会

防火水槽の町内現状調査で「問題あり」と答えた2件中1件につき撤去することに。昭和46年当時、同意がない上に設置条件も履行されず、町の不作為と瑕疵が認められ町の負担で撤去する。貯水槽上面と地面が同じ高さではなく極端な高さで、作業小屋としては使いづらく使用できなかったことを現地視察で確認した。

全町民に 一万円の商品券を支給



7月末から全町民に支給の商品券

支給額は、対象者1人につき1万円分の商品券を発行する（1,000円券10枚）。商品券の発送は7月下旬を予定している。利用期間は令和5年12月31日まで。

- ・総事業費 90,918千円
- ・財源内訳
- 地方創生臨時交付金 51,811千円
- 一般財源 39,107千円

総務産業 常任委員会

オール五城目 生活応援商品券事業

エネルギーや食料品価格など、物価高騰の影響を受ける町民の負担軽減と、町内経済の下支えをするため実施するものである。

対象者は令和5年6月1日時点で五城目町に住居票がある方、令和5年12月29日までに出生の届出をし、当該世帯に登録された方を対象とする。約8,300人を見込んでいる。

委員からマイナンバーカード紛失時の再発行までの手順を問う質疑があり、当局から「警察に届け出をし悪用されないよう利用停止の手続きを取る。その後改めてマイナンバーカードの再申請の届出を役場に提出し、1ヶ月弱ほどで再発行される流れである」と説明があった。

マイナンバーカードを紛失したら

各家庭に配布

いのちの教育あったかエリア事業

本事業の内容を問う質疑が委員からあり、五P連の研修会とあわせ9月開催を予定している事業に事故から復活を果たした自らの経験を元に、命の大切さを訴え全国で講演活動をされている、元教員・腰塚勇人氏を招く予定。また小学生対象の芸術鑑賞、劇団『風の子』の命の教育を題材とした公演も予定している。これまでも行われていた消防署による救命救命講座も命の授業として活用していくと説明があった。



小学生の救命救急講座

五城目町価格高騰重点 支援特別給付金事業

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯約1,600世帯に、1世帯あたり3万円を支給するものである。対象は、令和5年6月1日現在五城目町住民基本台帳に登録されている世帯のうち、世帯員全員が令和5年度住民税が非課税である世帯。

令和5年7月中旬対象世帯に申請書類を発送。申請期限は令和5年10月31日まで。

- ・総事業費 49,987千円
- ・財源内訳
- 地方創生臨時交付金 32,001千円
- 一般財源 17,986千円

コミュニティ 助成事業

令和5年度のコミュニティ助成事業は、広ヶ野町内会と蓬内台町内会にそれぞれ250万円を助成する。広ヶ野町内会の整備する主な備品はテント・エアコン・冷蔵庫・発電機・刈払機・物置など。蓬内台町内会はテント・投光器・発電機・エアコン・電子レンジ・物置など。



備品が整備される広ヶ野公民館

浅見内「谷地田橋」安全基準満たした高欄へ

町長 軽量部材を使用した高欄にしたい



高欄の高さが60cmと低い

工藤 昭和51年12月に竣工した浅見内地区の谷地田橋の高欄の高さが60cmしかなく低くて危険。高齢で足腰の不安定な方が多くなり、現状の高欄の高さでは、体を支える機能を果たさず、よろけて落下する危険性が大きくなっている。嵩上げをするか、または新設を提言する。



国道285号富津内バイパス

工藤 残地保障などにおいて、地権者の考えを導き出してやるなど助言や指導を求める。

国道285号富津内バイパスの管理は

町長 現行の道路橋示方書では、歩道路面から高欄までの高さは1.1mを必要とされており、現在の谷地田橋の高欄設置高はこの要件を満たしていない。危険度度の観点からも、高欄の交換は必要であり、谷地田橋に適応する軽量部材を使用した高欄へ更新したい。

町長 県では、内川の中州の土砂撤去工事について、今年度も実施する。町では当該事業が中途休止することがないよう、継続して働きかけていく。

内川の中洲除去

町長 工事完了後の旧国道は、県と町が立ち会い、現道の道路構造物の破損、舗装面の損傷箇所などの状況を確認する。更新工事や補修工事を県が行った後に、町が引き継ぎ管理する予定である。

町長 地権者が不安や疑問を抱いた際は、町担当者へ相談いただければ、県へも地権者の考えや要望を伝達し、双方が納得できる交渉成立ができるよう協力していく。

工藤 バイパス工事が完了後、現道は町管理になるが、破損箇所や現道の隣接住民、田んぼの関係者の意向などを考慮した対応を求める。



内川の中洲除去

備品処理の仕方

工藤 今後も色々な備品が出てくると思うが、これらの備品をKangoなどのオークションに載せ、少しでも財源確保につなげたらどうか。

町長 今後とも不用となった備品などについては、状態を見極めつつ処分方法を検討し、少しでも町の財源確保につながるよう努める。

あなたにかわって聞きました

一般質問



工藤 政彦

一般質問動画はQRコードから

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- 年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- 答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- 質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

工藤 政彦 議員

- 国道285号線富津内バイパスについて
- 浅見内地区の「谷地田橋」について
- 県河川「内川」の中洲の除去について
- 救急車ベッドにスプリングがついていないのか
- まだ使用できる備品などの処理の仕方について

松浦 真 議員

- 商工振興事業全般について
- あさひ台運動広場のKPIについて
- 不登校児童の学校給食費無償化補助金での在り方は
- コロナ禍の振り返りは
- 予算編成について

椎名 志保 議員

- 第8期介護保険事業計画の振り返りと第9期をどう進めるか
- 国民健康保険事業、運営の今後は
- 企業誘致の可能性と既存企業への存続支援、また雇用の状況は
- 役場各課連携を強固に
- 選挙における投票率向上の方策は

荒川 滋 議員

- 防災と減災、被災地復興状況
- 老朽化が進む水道施設について
- 過去の一般質問答弁に対する現状確認（農業、地盤沈下、災害後、空き店舗、スポ少などへの支援）

畑澤 洋子 議員

- 带状疱疹ワクチンに公費助成を
- 「GIGAスクール構想」一人一台端末の利活用について
- 小・中学校・こども園に110番非常通報装置の設置を
- 「お役所言葉」やめましょう

斎藤 晋 議員

- 町の人口減少について
- 町の自然環境について
- 災害・防災について
- 花のある町に

* 誌面の関係に掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



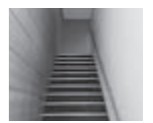
②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)



④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴される皆様の健康を守る観点から、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

工藤 政彦

第9期介護保険事業 どう進める

町長 最優先課題を12月に示す

椎名 サロンや介護予防教室へ出て来れない方たちをどう見守るか、どう声掛けするかが課題だ。職員による個別訪問や民生委員の方々だけでは限界がある。他の自治体ではコミュニティナース（健康おせっかいおばさん）の活用で、

町長 4重点実施事業は、継続的に実施できているものや、更に見直しが必要なこともある。町の現状把握とデータに基づき課題を見い出す作業を行っている。「自立支援型地域ケア会議」を予定し、「地域の現状と政策を考える定期会議」もスタートさせた。効果的な政策を見出し、第9期につなげていく。

椎名 今年度は、第8期介護保険事業計画の最終年度だ。どう振り返り、来年度からの第9期計画につなげていくのか。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



椎名 志保
一般質問動画はQRコードから



介護予防教室、男性の参加が課題

町長 保険料基準額の減額ができるような施策を進めていく。

椎名 介護予防に努力する高齢者に、その成果を示すことはできないか。第9期の保険料の見直しは。

町長 支援が行き届いていない現状はある。コミュニティナースは行政では対応しきれない領域に入り、自治体と連携することで、よりきめ細かいサポートが可能と考える。先進地の情報収集と関連機関との連携で、安心して暮らせる体制づくりに努める。

国民健康保険事業 運営の今後は

椎名 県から示された必要保険税額には財源が不足し、税率改正が必要とのこと。納付金算定の医療費指数は全県第2位。医療費の削減に、どう取り組んでいるか。

町長 健康診査は、平日早朝の他に日曜日の追加健診日を設けたり、個別医療機関での受診、人間ドックなど受診の利便性と受診率向上に努めている。また生活習慣病予防の保健指導を充実させ、病気の予防・早期発見で医療費の抑制につなげていく。

椎名 所得指数は20位。農業所得の向上で、財政基盤を安定させる努力を。また、この窮状を県に強く訴えるべきだ。

町長 早期の保険料水準統一と本年度で終了となる激変緩和の代替措置を県に要望している。県からは新たな措置の検討内容が示され、納付額の減額対応を図っている状況だ。

椎名 仕事をリタイヤされた方が都会での暮らしを引き払い、老後を生まれ育ったふるさとで送ろうという動きが見られる。これからの町のあり



より活用が期待されるババメベース

町長 工業団地や工場建設にふさわしい町有地を持ち合わせていないことや、労働人口、交通インフラも他市と比較し、厳しい状況にある。地域活性化支援センターを活用した起業・移住支援など、五城目らしさを活かした誘致活動を続けていく。湖東3町商工会や金融機関と連携し、事業所の支援も継続していく。

企業誘致の可能性は

椎名 昨年1年間、県へ職員を派遣したが、企業誘致の可能性はどんな状況か。

商工振興課における 最大の課題は何か

町長「朝市振興」が最大の課題

あなたにかわって 聞きました 一般質問



松浦 真
一般質問動画はQRコードから

松浦 朝市振興が課題解決の糸口であり、課題であるという話であり、様々な施策をしていることは分かるがその効果は。

商工振興課長 朝市の振興、これが最大の課題であると受け止めている。その解決が商工振興、観光振興、産業振興といった課題解決であると考えている。その効果というところは今のところ見えない。

松浦 商工振興課における最大の課題は何か。そして、その解決のための事業はどれか。

町長 商工振興課の業務において様々な課題を抱えているが、当町の商工業、観光業など町内経済の発展については、「朝市の振興」が課題解決の糸口であると認識し、最大の課題と捉えている。

松浦 商工振興課における最大の課題は何か。そして、その解決のための事業はどれか。

不登校児童の学校給食無償化の取り扱い

松浦 給食費無償化について、「児童又は生徒の長期欠席、その他やむを得ない理由により、学校給食の提供が中止されている場合は補助金の交付を受けることができない」とあるが、奈良市では不登校やアレルギーの関係で喫食出来ない生徒には相当額をギフトカードで配布することとしている。

教育長 当町の学校給食無償化補助金交付要綱では「児童または生徒の長期欠席、その他やむを得ない理由により、学校給食の提供が中止されている場合は、補助金の交付を受けることができない」としている。

ただし、食物アレルギーなどにより完全弁当持参の場合は、一食分につき学校給食費単価額を上限として、補助金の交付対象となる。この学校給食費無償化補助



様々な環境にある子どもたちを取り残さないために

予算編成に 十分な時間を

松浦 予算編成は当町にとって大事な業務であるが町長が各課との予算策定に充てている時間は昨年実績はどれぐらいか。

町長 本町の当初予算編成作



予算議論の過程も分かりやすく

業に充てる査定時間は、最初の総務課長査定、次の町長・副町長査定ともに予備日を入れて、それぞれ4日間、時間にする。それぞれ20時間。各課室とは、年に2回、上期が4月、下期が10月に、それぞれ3日間、時間になると、それぞれ15時間ほど、町長・副町長との打ち合わせを実施している。

带状疱疹ワクチンに 公費助成を

町長 助成開始に向け準備をする

町長 免疫能力が低下すると、ヘルペスウイルスが再活性化し発症する。50歳以降の働き盛り世代の発症は仕事や経済へ影響し、医療費も大きいと考える。町民の疾病予防・健康の保持・増進を目指し、来年度助成開始に向け準備を進めていく。



ICT授業風景



銀行同様のシステム

あなたにかわって
聞きました

一般質問



畑澤 洋子
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

畑澤 幼少の頃に水疱瘡を発症し沢山のウイルスが神経の束の中に残る。後年、免疫が無くなると宿主を攻撃し带状疱疹を発症する。10人に一人が带状疱疹後神経痛で長期に苦しい思いをしている。生ワクチンは5年から7年の効果があり、不活化ワクチンは2回接種で10年の効果が認められている。

畑澤 幼少の頃に水疱瘡を発症し沢山のウイルスが神経の束の中に残る。後年、免疫が無くなると宿主を攻撃し带状疱疹を発症する。10人に一人が带状疱疹後神経痛で長期に苦しい思いをしている。生ワクチンは5年から7年の効果があり、不活化ワクチンは2回接種で10年の効果が認められている。

「GIGAスクール構想」一人一台端末の活用状況は
畑澤 一人一台端末の活用は、地域間・学校間で格差が発生。改善に向けた対応が急務であると。秋田県は全国45位。町の6年生の端末利用時間・科目等の状況は。端末更新の時期は。
教育長 令和4年度全国学力・学習調査、秋田県学習状況調査では、県平均より低い傾向にあるが、学年によって大幅に増加した学年もあり、ICT支援員の配置が効果を上げた認識する。6年生は1日当たり1時間から2時間

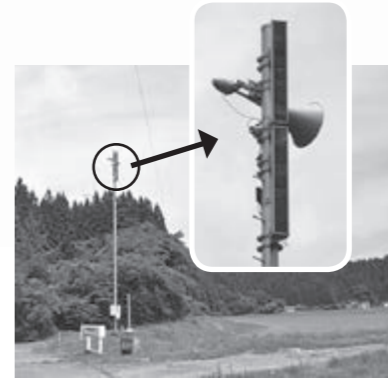
小中学校とこども園に110番非常通報装置の設置を
畑澤 学校等教育機関での凶悪事件が後を絶たない。緊急事態の発生と通報が、自動的に電話よりも早く正確に「緊急事態」を知らせるシステム。何が起るか分からない現代にあつて、大事な子供の命を守ることは最大の急務だ。児童生徒の安全対策にやりすぎということはない。

「お役所言葉」やめましょう
畑澤 堅苦しくわかりにくい「お役所言葉」を使った行政文章を見直そうと、全国自治体で職員向けの手引を作成する動きが広がっている。見直しチーム立ち上げて改善しては。
町長 住民の中には「わかりづらい」といった意見の方もいると思う。先行事例を参考に伝わる文章を作成するよう努める。

聞こえない 防災行政無線どうする

町長 情報伝達手段の多様化を進める

町長 現時点では計画していないが、出力方向や増設は地域の実情に応じて見直しを検討することが必要と考える。防災行政無線のみですべての情報伝えるには限界があるため情報伝達手段の多様化を進めている。



住家から離れた場所に立つ下山内の無線

荒川 下山内の方々と確認の機会を設けるように。
町長 昨年の調査結果をもとに県は堤防兼用町道の沈下対策の現状は。
荒川 川原町、新町、小池町川沿いの地盤沈下に対する対策の現状は。



度重なる浸水に見舞われてきた七倉地区

七倉地内の浸水対策はどうなった(再)
荒川 県は平成29年の調査結果を基に抜本的な排水対策を練る構想だと答弁されたが現状は。



地盤沈下が起きている馬場目川沿い (川原町)

荒川 進んでいる近隣自治体の取り組みを調査して進めるように。
教育長 スポーツの推進の観点から運営支援を体育協会と協議し、取り組む。健やかに運動できるように支援していく。

荒川 少子化で大きな負担となっている活動場所使用料金の町の宝である子供たちのために町が負担すべき。
教育長 スポーツの推進の観点から運営支援を体育協会と協議し、取り組む。健やかに運動できるように支援していく。

町長 今年度県は七倉地内の現地測量を行う予定。車道部の排水柵が詰まり排水機能の低下や道路冠水を引き起こすことから県では測量終了後対策案を検討する。
荒川 該当住民と店舗に情報伝達せよ。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



荒川 滋

一般質問動画はQRコードから

荒川 昨年の豪雨災害時に無線からの音声が聞こえなかった下山内地区では移設や増設が必要ではないか。

被災農地の作付けへの影響は
荒川 甚大な被害を受けた農地で春の作付けへの影響は。
町長 仮復旧を行い作付けに間に合わせた。手直しを必要とする箇所は収穫後に対応する。

策としてシール材やコンクリートの充填、町は流雪溝の目地剥離の補修を実施している。今後も県と協議して対策工事を進める。

荒川 少子化で大きな負担となっている活動場所使用料金の町の宝である子供たちのために町が負担すべき。
教育長 スポーツの推進の観点から運営支援を体育協会と協議し、取り組む。健やかに運動できるように支援していく。

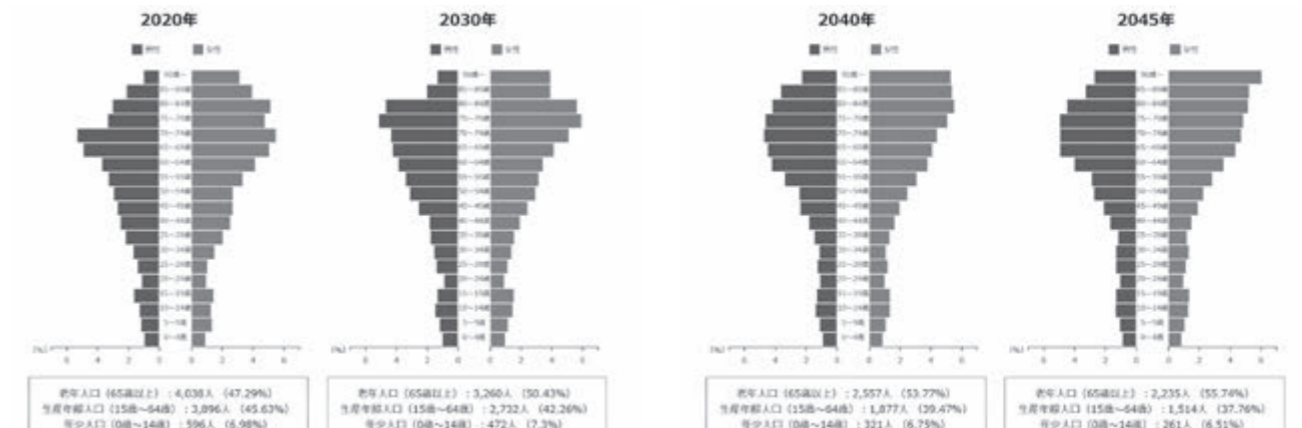


齋藤 晋
一般質問動画はQRコードから

町の人口はようになる

町長 2030年 6,464人
2040年 4,755人

急激な人口減少はこれからどうなる
町長 国立社会保障・人口問題研究所の公表している町の人口推移によると、2030年 6,464人、2040年 4,755人、2045年 4,010人となっている。
今後、出生数はどうなる
町長 国勢調査、住民基本台帳に基づき出生率を算定
2030年 23人
2040年 17人
2045年 14人
となっている。
齋藤 人口減少を食い止めるのは今、今やらないと間に合わない。



人口ピラミッドは

避難訓練について

避難所の運営主体は誰
齋藤 避難訓練時に指導員より避難所の運営は、「避難民が自ら実施する、避難テント設営から避難民の食事準備まで避難民が実施する」との話があったが、電気のスイッチ、避難テントや非常食の在処も分からない避難民が主となり、出来るのか。

町長 基本的に避難所の開設・運営は町が行う。避難所に職員を派遣し施設管理者等と連携しながら開設準備にあたる。必要に応じ避難民に運営協力を呼びかけている。

想定外の災害が増えている。町に津波の被害はないのか。
町長 「地震により八郎湖堤防が75%沈下」などの条件により大川地区の農地や道路の一部が津波浸水想定区域となる、その浸水想定は1mから2m未満となっている。今年三月には津波防災地域づくりに関する法律に基づき当該地域は「津波災害警戒地域」に

- その他に
- 森山の山蛭対策は
- 森林伐採後の植樹は
- 死にかけている川の対策は
- 川の魚が減った原因は
- 町に被害を及ぼす災害は
- 避難所開設の昼と夜の違いは
- 避難所毎に避難所マニュアルを作るべき
- 災害別の避難所マニュアルは有るか
- 花いっぱい運動の今後は
- 樺通りにも花を
- など質問した。



難しいテントづくり

指定されている。当該地域については県と合同で住民説明会を開催するなどの対応をしたい。

第2回 議会議員全員協議会

令和5年5月22日

協議案件
・五城目町地域活性化支援センターについて
条例を改正し、10年以上の入居を可能にする

・貯水槽などの撤去について
町内にある貯水槽の解体・撤去にかかる経緯について

・五城目町総合交流センター五城館の指定管理者について
五城館の指定管理者を公募ではなく第3セクターである(株)あつたか五城目を候補者として選定

・国民健康保険税の税率改正について
令和5年度の国保税の財源不足が見込まれるため国保税を改正

報告案件
・新型コロナウイルス感染症緊急支援対策事業について
・8月豪雨災害に係る介護保険料減免の進捗状況について
・町道五城目外環状線の片側交互通行について

農業委員の推薦に同意

農業委員一覧

- 草 皆 義 彦 (男・65歳) 帝釈寺・認定農業者
- 館 岡 晃 (男・65歳) 下高崎・認定農業者
- 佐 川 誠 (男・65歳) 野田・認定農業者
- 伊 藤 信 子 (女・68歳) 町村・認定農業者
- 金 子 成 敏 (男・66歳) 上山内・非認定
- 澤 田 石 清 樹 (男・62歳) 湯ノ又・認定農業者
- 猿 田 実 (男・72歳) 浅見内・非認定
- 伊 藤 春 美 (女・59歳) 町村・非認定
- 竹 内 治 子 (女・51歳) 恋地・中立
- 伊 藤 さくら (女・47歳) 高千・非認定
- 浅 野 正 (男・66歳) 大川・非認定
- 佐 藤 正 一 (男・56歳) 谷地中・認定農業者
- 館 岡 恵 (男・65歳) 上高崎・認定農業者

議員研修報告

議員に必要なことを学ぶ

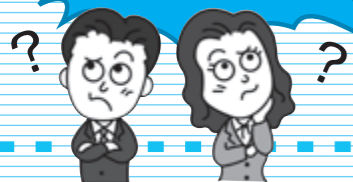
- 【研修名】市町村議会研修5日間コース
「新人議員のための地方自治の基本」
【研修期間】5月8日〜12日
【研修先】滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
- 【参加議員】松浦 真
- 【研修名】市町村議会研修2日間コース
「住民とのコミュニケーション対話と発信力の向上」
【研修期間】5月18日〜19日
【研修先】滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
- 【参加議員】荒川 滋

今後の議会の在り方を考える

- 【研修名】全国町村議会議長、副議長研修会
【研修期間】5月23日
【研修先】東京国際フォーラム
- 【参加議員】石川 交三、伊藤 正春

なんとになったべが!

令和4年6月定例会一般質問より



問

より利用できる「パーク」>

1年前の答弁 1年間の利用者数は7,889人、貸出冊数は8,530冊。今年度は月ごとや季節ごとの企画・展示や講演会を予定している。また各地区公民館への図書返却、キッズコーナーの設置、蔵書の予約制など、本を手にするきっかけづくりを展開し、親しまれる地域図書室を目指していく。

現在 利用向上に向けて、地区公民館への返却可能や、キッズコーナー設置、月ごと・季節ごとの企画・展示等を行っている。

開室時間については、平日、当初の午前11時を午前10時30分に変更して利便性を図っている。安全面については、小学校の避難訓練への参加や、対策マニュアルを作成し、安全対策に努めている。

問

馬場目川沿いの地盤沈下への対応

1年前の答弁 県は空洞化調査をこの春に行った。レーダー探査の調査結果がまとも次第、町に説明される予定。

現在 川端通線舗装陥没については、昨年度に秋田地域振興局建設部で「馬場目川吸出し調査」(※路盤等の空洞化調査)を行い、変状箇所を特定している。変状箇所の対応は、秋田県と町との双方で対処しなければならず、町としては、重複工事避けるため県発注工事との合併施工を計画していた。しかし県の工事発注見通しが見つからないこと、舗装陥没の度合が高くなったこと、安全確保の観点から、事業着手する予定である。

問

「グループホーム湯ノ越の家」「湯の越温泉」から住宅地へと広範囲にわたるレッドゾーン区域。標高200mの「湯ノ越山」の急斜面の崩落、地滑りを防ぐため保安林指定を望む。

1年前の答弁 申請には、森林であって所有者の同意などが必要となる。土砂災害の防備にかかる特定公益的機能の達成を目的に、町が県知事に指定申請ができることになっている。申請前に県から現地確認をしてもらう。

現在 秋田地域振興局の治山担当者からも現地を確認してもらったが、開発行為のあった山林であるため、指定は困難な状況にあるとのこと。

土砂災害警戒区域等については、土砂災害防止法及び地域防災計画に基づき警戒体制の整備を行っており、区域内の要配慮者利用施設においては、避難計画を策定し、避難警戒体制の整備、避難路の確認や訓練を実施している。



陳情と意見書

6月定例会で採択となった陳情2件を意見書を添えて関係機関に送付した。

採択 ◆地方財政の充実・強化を求める意見書 提出に関する陳情

陳情者 連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会
議長 太田 修

意見書(抜粋)

一、社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地方公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。

採択

◆ゆたかな学びの実現および教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるため、2024年政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情者

秋田県教職員組合
執行委員長 小林久美子

意見書(抜粋)

一、中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
二、学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種配置増など教職員定数改善を推進すること。

不採択

◆国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書

陳情者

インボイス制度を考えるフーリーランスの会
代表 阿部 伸

陳情趣旨(抜粋)

国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求めること。

賛成少数により不採択

(出席11名 欠席1名 議長を除く)

賛成

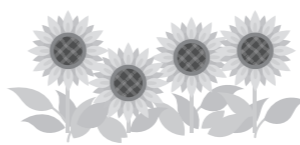
松浦 真、佐々木仁茂
畑澤 洋子、斎藤 晋
荒川 正己

反対

椎名 志保、荒川 滋
石井 光雅、伊藤 正春
佐藤 重信、館岡 隆

欠席

工藤 政彦



請願・陳情の提出方法

町政に対するご意見・ご要望があるときは、誰でも町議会に請願書・陳情書を提出することができます。提出された請願書・陳情書は、委員会審査されます。その結果、願意が妥当であると認め、本会議で採択された場合、町や教育委員会などの関係機関に対する措置要求、国や関係行政庁に対する意見書の提出などを行います。

請願書および陳情書を作成するときの注意点

- ・2つ以上の内容について請願および陳情する場合は、それぞれの内容ごとに分けて作成してください。
- ・請願・陳情事項および理由は、邦文で分かりやすく書いてください。
- ・提出部数は1部です。
- ・受付は議会事務局で随時行っています。
- ・受理後に内容の確認を行うことがありますので、連絡先と担当者名をご記入ください。

様式など詳しくは町ホームページでご確認願います。
<https://www.town.gojome.akita.jp/town/gikai/seigantinzou/816>



(松浦 真)

議会を傍聴しました

「議会の良い点と改善点」



竹内 大知さん
(恋地)

今回、町議会を初めて傍聴した。午前だけの傍聴ではあったがそのなかでも町議会の良い点、改善すべき点を見つけることができた。まず良い点として町民に寄り添った施策を提案し実現しようとしていると感じられたことがある。議会の中で「町民を第一に考え」などの言葉が複数回つかわれていたことが印象深い。町民の声を議会での提案や質問につなげ、住みよい町にしようという気持ちを感じた。



改善すべき点として、とくに一般質問の受け答えは全体的に不明瞭で、具体的な数値やデータを求めた質問に対して曖昧な回答で済ませている場面が何度かみられた。このような回答は質問者が求めた情報が正しく得られないだけではなく、傍聴者にも不信感を残すことになるため、改善すべきだと思う。私は初めての傍聴をきっかけに町の政治に興味が出てきた。これからも町の動きに気を配り、これからこの町がどのように変わっていくのかを考えていきたい。また議会と町民のつながりをもっと深めていきたいと思う。

(松浦 真)

がんばってます

もっと地域との交流を増やしたい



五城目高校
生徒会長

内藤 □□さん

春の学校行事の一つである馬場目川クリーンアップが今年で42回目を迎えました。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方の参加が難しくなり生徒と教職員のみで実施していましたが、今年度は4年ぶりにPTAや地域の方と一緒に実施することができました。各自ゴミ袋を持ち、燃えないゴミと燃えるゴミに分別しながら馬場目川周辺の清掃活動を行いました。清掃中、優しく笑顔で声をかけて



馬場目川をクリーンに

いただき、改めて私達は皆様に支えられて楽しく学校生活を送られていると実感しました。これからももっと交流の場を増やしていけたらと思っています。また6月17日に開催された五高祭も4年ぶりに制限のない中で、模擬店やステージ発表が行われました。この形で開催された五高祭は3年生の私自身初めてでした。できることが限られた先輩達の思いも受け継ぎながら再スタートの気持ちで盛り上げました。

(工藤 政彦)

編集

後記



昭和45年から53年間愛読して来た週刊朝日が、5月30日の最終号で101年の幕を下ろした。水曜日の朝、新聞といっしょに新聞受けに入っている週刊朝日を読むのが最高の楽しみだった。一番最初に開くのは最終ページの山藤章二の「ブラックアンゲル」、そしてドン小西の「イケてるファッション」もおもしろかった。司馬遼太郎の「街道をゆく」は単行本を全部揃えた。今でもたまに読むのが楽しみである。吉永小百合さんは、最終号の「週刊朝日とわたし」で「トップが悪いんじゃないですか。100年も続いた大事な雑誌をやめるなんて」と言っている。何事もトップ次第か。週刊朝日の休刊、残念無念。そして感謝と、寂しさと。

石井 光雅 記

